

競技注意事項

1. 規則

競技は2018年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。なお、2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

2. 練習

- ① 練習は、第2陸上競技場とし、安全面に十分注意して行うこと。第2競技場の使用は安全面配慮のため選手のみ。
- ② ~~会場への投擲物持ち込みは禁止~~とし、投擲練習は、招集後に本競技場に入場してから行う。
- ③ フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。

3. 競技場とスパイクの使用

本競技場は全天候型である。使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は、4mm四方の定規に適合するものでなければならない。

4. 招集

- ① 招集所、混成招集所は、スタンド下雨天走路内スタート側に設置する。(会場図参照)
- ② 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。棄権する場合は、棄権届を招集完了時刻までに必ず提出する。(棄権届は事前にTICに取りに来ること。)
- ③ 招集開始及び完了時間は下記の通りとする。

種目	時刻
トラック競技	競技開始30分前開始 競技開始15分前完了
フィールド競技	走高跳、走幅跳は 競技開始45分前開始 競技開始30分前完了 砲丸投は 競技開始60分前開始 競技開始45分前完了 棒高跳は 競技開始75分前開始 競技開始60分前完了

- ④ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に行き、競技者係から点呼を受ける。点呼を受けた後は競技者係の指示に従う。
- ⑤ トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。(リレー競技は第4走者のみ)

5. 入退場

- ① 入場については競技者係の指示に従う。
- ② トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1通用門から退場する。
- ③ フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で最寄りの通用門から退場する。

6. ナンバーカード

- ① ナンバーカードは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ② ナンバーカードは胸(腹ではない)と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍競技は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、準決勝、決勝の組・走路順は本部で抽選し記録掲示板に掲示する。

8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判に申告すること。

9. 3000mのスタート方法について

3000mにおいてはグループスタートを採用する。スタート方法は各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、その際スタート10m以内には内側・外側を分ける縁石は置かない〔第162条⑩〕。また、気象条件によっては給水を行う。

10. オープンレーンについて

男女800m競走はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱(もしくは代用縁石)を置くこととする〔第163条⑤〕。

11. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m50 1m65	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	以降 3cm ずつ
女子走高跳	1m30 1m45	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	以降 3cm ずつ
男子棒高跳	2m50 3m00 3m50	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	以降 10cm ずつ
女子棒高跳	1m90 2m40 2m80	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	

② 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、第1位決定のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする〔第181条⑨〕。

12. リレー競技について（リレーオーダー用紙はTICに準備）

- ① リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、最初の組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。決勝においても同様に、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。（オーダーに変更が無くとも必ず提出すること。）
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニホームを着用すること。
- ③ リレーのマーカーの使用は1カ所とする〔第170条④を適用〕。

13. 番組編成

1000mから8000mまで、また4×100mRで準決勝、及び決勝の番組編成は、上位1～4位の4名、または4チームを中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名または2チームを1、2レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

14. 計時・競技の抽選

- ① 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- ② トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは下記の方法で競技を行う。
- ア、400m以下の競走競技、障害走、リレーにおいては、判定写真を拡大し、細部まで比較（1000分の1秒以上）し着差の判定をする。それでも判定できない場合は、競技者又は代理人によって抽選をして決定する。
- イ、800mにおいては、アと同様に比較し、それでも判定できない場合は、次のラウンドに進める。
- ウ、1500m、3000mにおいては、次のラウンドに進める。

15. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。〔第200条8(c)〕ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正した競技者は、全て失格とする。2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

16. フィールド競技について

走幅跳、砲丸投は記録上位8名がトップ8へ進出となり、さらに3回の試技を認める。

17. 用 器 具

- ① 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- ② 棒高跳のポールは本部の公式計測員の検査を受けてから使用する。

18. 抗 議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（全てのラウンドにおいて15分以内、ただし翌日に上位ラウンドがある競技は30分以内）に各顧問がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員ジュリーに文書で申し出る。

19. 対抗得点と表彰

- ① 本大会は学校対抗制とし、得点は、1位8点、2位7点・・・以下8位1点とする。
- ② 団体は男子・女子・男女総合優勝の学校に優勝杯、賞状を授与。2位～8位までに入賞した学校に賞状授与。
- ③ 個人については、各競技決勝終了後、本部前で直ちに行うので、8位までに入賞した選手は、競技終了後表彰係の指示に従う。

20. そ の 他

- ① 各自の持ち物については自分自身で管理し盗難に注意する。
- ② ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- ③ プログラムの記載事項の訂正については1日目・2日目とも8:15迄に各校監督がTICに訂正届を提出して手続きを行うこと。
- ④ 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。
- ⑤ メインスタンドでの集団応援、走高跳、砲丸投競技中の芝スタンドでの集団応援は禁止とする。